

# 商 經 學 叢

近畿大學商經學會



第一卷 第一号

昭和二十七年十二月發行

F2  
4

有 斐 閣

◇ 目 次 ◇

「商経学叢」を世に送る…<sup>会</sup>商学部長<sup>長</sup>経済学博士 川西正鑑

論 説

ソ連世界経済学の回顧…教授 経済学博士 生島廣治郎… 1

性別人口に於ける自然法的秩序……

……教授 経済学士 浅香末起… 31

利潤の分析……元教授 商学博士 武田鼎一… 51

ルール重工業の再編成……教授 経済学士 小島精一… 76

都市交通機関としての

トローリー・バス……教授 法学士 金谷重義…107

資 料

計画経済の世界に於ける國際通貨協定の役割

教授 <sup>マ</sup>ス<sup>ク</sup>ラ<sup>ラ</sup> <sup>オ</sup>ブ<sup>ア</sup>ラ<sup>ラ</sup> 池田実…122

# 「商經學叢」を世に送る

川 西 正 鑑

我が學園が大正十四年創立の大阪専門學校と昭和十八年設立の大阪理工科大学とを母体とし新制近畿大学に轉生してこゝに四年、この間本學部としては法學部と共に夙に法商學會を組織し、學會雜誌としては些やか乍ら「近畿大學論叢」、更に「法商學部論叢」を統刊して來たのであるが、最近兩學部の内容充実に伴ひ特に本春大学院の設置認可を機會に、これが發展的解消を遂げ、こゝに各學部毎に獨立して學會を持つこととなり、商學部はその組成する專任教員を中核とし、大学院、學部の商經學徒を統合して近畿大學商經學會なるものを結成し、これが機關雜誌として「商經學叢」を世に送ることになつたのである。

學徒に取つて最大の喜びと誇りは、自分達の學問研究の成果が一つ一つ世に出されることであらう。私は本學會の全會員と共に、これが誕生を慶祝して己まぬものである。

惟ふに學問の道はきびしく険はしい。それにも拘らず、學徒はその若さと情熱の故に、峻嚴の現實を踏み越え克服して、歴史と運命を作つて行くことが出来る。

今や講和発効と共に日本の歴史の一コマは動いた。學徒に課せられた唯一の道は眞理の命ずるところに従つて、迷へる小羊にも等しい日本國民の進むべき行く手を高く示すことであらう。

「大學の轉落」が叫ばれている。何故であらう。「學問は自由である」それこそ學徒に許される唯一の權威である。然るに今や大學教授の或る者はこの自由なるべき眞理探究の埒から、自由の許されない政治行動へ逸脱し、階級戦線にさへ敢へて立つている。世界は、擧げて平和を熱願し乍ら、今や好むと好まざるとに拘

らす再軍備、戦争へと追ひ込まれてゐる。思想的には全く混沌その極に達し、全く底知れぬ無明の長夜であり、巷に聞く喧騒は革命前夜の感を深うする。独立日本の裸像は見えざる鉄條網によつて張り繞らされてゐる。眞に祖國日本を救ふものは誰か？

学問探究の熱情はたぎれども眞理の扉は堅く塞ぎし、物言はうとはしてゐない。惟ふに「道は一つ」である。学問理論は「実践を裏付けるもの」でなければならぬ。しかし乍ら單に実践を裏付けるといふだけでは有力なる思想ではあり得ても、眞の思想、眞の学問とは云ひ難い。眞の学問理論であり思想であるためには実践を「正しく」裏付けるものでなければならぬと信ずる。それでこそ始めて、その思想や学問理論に、情熱と勇氣と、何物をも焼き盡さずんば止まぬ「眞実の力」が生れて來るのである。大衆は納得してこれを支持し信奉し燎原の火と化し、眞に「生活の燈火」となるのではあるまいか。

我々学徒の生命は「実践を正しく裏付ける」眞の思想、学問理論探究のために捧げられるのである。而して私は、この「生ける」眞実の道を發見する唯一の手掛りは何よりも先づ「学問の故郷に歸へる」ことであらうと思ふ。凡ゆる文化の上でその故郷が忘却されているやうに経済学、商学の場合でもその原始性と歴史性が兎角忘れ去られている。眞の学問であり理論であるならば人類悠久五十年以上の原始時代から近世までの、その原始性と歴史性とを振り返つて、今一度、我々の使命を考へ直す必要がある。それでこそ自分に對しても大衆に對しても、深く体内に眠つてゐる生活力を強く搖り起し、その学問的發見の喜びが、どのやうに人から人へ傳へ頌たれなければならぬぬかを、初めて訴へ得るのではあるまいか。

本学会の發足と機關誌「商經学叢」の發刊に當り、これが生長と發展に對し、只管、關係各位の御協力を希ふと共に、本学会が聊か無明長夜の燈炬として学問の前進とヒューマニズムの追求と、國策規定の滯澁となり、以て祖國日本の隆昌に寄與されんことを祈念して創刊の辭に代る次第である。

商経学会役員

会	長	川西正鑑	評議員	錦織貞夫
理	事	生島廣治郎(編)	戸田京次	
〃	〃	池田実(全)	大平頼母	
〃	〃	岩城由一(全)	川西正鑑	
〃	〃	錦織貞夫	景山哲夫	
〃	〃	川西正鑑	金谷重義	
〃	〃	金谷重義(研)	吉田京興	
〃	〃	景山哲夫(研)	吉田忠勝	
〃	〃	小島精一(編)	竹中靖一	
〃	〃	淺香末起(編)	永雄策郎	
〃	〃	土方成美	小島精一	
監	査	陶山誠太郎	淺香末起	
〃	〃	竹中靖一	佐々木信造	
評	議員	生島廣治郎	土方成美	
〃	〃	池田実	陶山誠太郎	
〃	〃	岩城由一		

昭和二十七年十一月廿五日印刷  
昭和二十七年十二月一日発行

〔定價百貳拾円〕

編輯兼  
發行人  
生島廣治郎  
小島精一  
淺香末起

印刷人  
常深整身

印刷所  
近畿大学印刷局

近畿大学商学部内

發行所  
近畿大学商経学会

布施市小若江三二一

發售所  
株式会社 有斐閣

東京都神田区神保町

二丁目十七番地

電話九段(33)〇〇三三二番  
振替口座東京三七〇番

本誌の購讀會費(一ヶ年分五百円)は近畿大学商経学会へ申  
込まれたい

# THE REVIEW OF COMMERCE AND ECONOMICS of KINKI UNIVERSITY

---

Volume 1

Dec. 1952

Number 1

---

On the Publication of "The Review of Commerce and Economics"

President of the Society of Commerce and Economics,

Dean of the College of Commerce and Economics.

..... Dr. *Seikan Kawanishi*.

## Articles

Recollection of World Economics in U.S.S.R.

..... Prof. Dr. *Kōjiro Ikushima*.

Order of Natural Law in Population Male and Female.

..... Prof. *Sueoki Asaka*.

Analysis of Profit..... Prof. Dr. *Teiichi Takeda*.

Reconstruction of the Ruhr Heavy Industry.

..... Prof. *Seichi Kojima*.

On Trolley-Bus as a means of Municipal Traffic.

..... Prof. *Shigeyoshi Kanaya*.

## Materials

Role of the International Monetary Agreements in a world  
of Planned Economies..... Prof. *Minoru Ikeda*.

---

THE SOCIETY OF COMMERCE  
AND ECONOMICS  
of  
KINKI UNIVERSITY  
OSAKA JAPAN.